

2018 年 度

入 学 試 験 問 題
入 学 試 験 問 題 解 答 例

(国語, 英語, 数学)

(高等学校)

国	語	1	～	12
英	語	13	～	20
数	学	21	～	26

一 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

大学生と話をしていると、「やりたいこと」がなくて、見つからなくて……といった語りをしばしば聞くことがあります。そして彼(女)らは大抵の場合そのことを何かしら、^aばつが悪そうに語りま^aす。このような情景はよくありそうなことだと思われるでしょうか。(I)、現代においてはそうだと思うのですが、どの時代・どの社会においてもこのような情景がよく見られるわけではないと思います。

たとえば、ぐっと時をさかのぼって江戸時代などであれば、若者に限らず人々は「やりたいこと」について頭を悩ませることはほぼなかったはず^①です。当時のほとんどの人にとって、どのように生まれ落ちるかが、その人の人生^①を非常に強く拘束していたためです。武士の子に生まれるか、農民の子に生まれるか、どのような「家柄」の子に生まれるか、長男として生まれるか次男として生まれるか、あるいは女の子として生まれるか。本人がどんなに優秀な能力を^②ハッキリしても、あるいは秘めていても、自らが生まれ落ちた属性にその人生がほぼ収められてしまうような社会では、「やりたいこと」を探す以前に、自分自身が今とは別の何者かになれるという想像すらほぼ抱かれることはなかつたと考えられます。

明治維新を経て近代社会になると、人々の人生を決定づける仕組みは今述べてきたような「属性主義」から、学力試験を主とした選抜のなかで自らの能力を証明した者が^③リッシン出世を果たすことができる「能力主義」へと徐々に変わっていきます。しかし、このような変化が人々をして「やりたいこと」にすぐ直面させるようになったかという^bと、そうではありません。たとえば能力主義による選抜が大衆化し、子どもたちの受験競争が過熱した一九六〇年代から八〇年代あたりのことを考えてみましょう。当時の子どもたちは「いい学校に行つて、いい会社に入ること」それ自体を目的として受験勉強を頑張っていたように見えます。もちろんそのような子ども、あるいは親ばかりではないでしょうが、能力主義的な選抜の結果獲得できる、学歴や有名企業への就職といった「新たな^x」の獲得がここでは目標となっています。また、「やりたいこと」で悩むことがあまりありません。また、そうした属性の獲得において、男女差が未だ強く残る時代でもありません。

「やりたいこと」という言葉が人々を覆っていくようになるのは一九九〇年代です。言葉の使われ方を少し細かく見ておくと、八〇年代後半のいわゆるバブル景気のさなか、大学生の就職状況が非常によかつたために、何でも選べるからこそ、やりたいことを仕事にしようという物言いが始まります。これが、バブル崩壊を経て就職状況が「^④ヒョウガキ」と言われるほど悪化するなかで、状況が厳しいからこそ、やりたいことをはっきりさせて選抜を勝ち抜こうという物言いに取って代わられます。A「やりたいこと」を推奨する文脈が数年間で真逆に変わってしまったわけですが、後者の物言いは「やりたいこと」を見つけ出そうとする「自己分析」、またその自己分析と連動するような内容を主とする「エントリーシート」といった慣行が九〇年代中盤以降の就職活動に組み込まれることで定着し、若い人々の前に「やりたいこと」がちらつくような状況を生み出して今に至ります。

一九九〇年代から二〇〇〇年代は、皆が知っている大企業の経営破綻、大規模な従業員削減が多く

ニュースとなり、私たちの社会がそれまで持っていた「いい学校に行つて、いい会社に入ること」が望ましいという価値観が大きく揺らいだ時期でした。そのような状況だからこそ、(Ⅱ) 威信のある大学に、安定した企業に進みたいと思う欲望が再加熱されることにもなるわけですが、それでも、以前のように「いい学校・いい会社」をソボク^⑤に信じることはできなくなっているはずですよ。それは今や、一つの選択肢に過ぎません。だとすればここで再び、そのような選択をするのはなぜかという問いを埋めるために、「結局、あなたは何がやりたいのか」という問いが個々人に突きつけられることになるわけです。社会の成熟は、今述べたこと以外にもさまざまなことがらを Y ではなく、個々人の選択の問題へと解放していくことになるのですが、それはその解放的側面と表裏をなして、事あるごとに「結局、あなたは何がやりたいのか」を人々へ突きつけるように社会を変貌させていくことにもなります。

さて、こう考えてくると、「やりたいこと」が見つからないことについて、さほどばつが悪い思いをする必要はないと考える道筋ができます。「やりたいこと」を問うてくるような大人、特に大体四十代以上の大人が若者であったとき、そんなことを考えなくともこの社会でそれなりに生きていくことができたわけです。「やりたいこと」を探し、追い求めることが望ましいという価値観は、述べてきたような社会的背景が、あるいは自己分析、スポーツ選手の自己語り、ポピュラー音楽の歌詞などのさまざまな社会的仕掛けが生んだ、たかだか二十年程度流行しているものにすぎないのです。だから、このことについてはもっと気楽に考えてほしいのです。

とはいえ、現代社会の若者はやはり「やりたいこと」に向き合わないと生き抜いていけないのではないか、と思われるかもしれません。確かに、向き合わないといけないときはあるでしょう。でも、その向き合い方は人それぞれで、そこにこそポイントがあるのだと私は思っています。これは、人それぞれだから自己責任だという話ではありません。そうではなく、簡単に回避できない何かが目前に現れたとき、それに積極的に乗っていくか、半身ですり抜けていくか、自分なりに読み替えてしまいか、棚上げしてしまいか、無視してしまいかといった向き合い方のいずれかを選ぶそのときに、自分というものがあつた種最もよく表れると思うのです。もう少し言葉を足せば、自分に向かつてくる「社会」をどう自分の側へ折り曲げていくかというところにこそ、「やりたいこと」も含めて、自身自身を最もよく考えることのできるチャンスがあるのではないかと思うのです。そんな風に、「やりたいこと」を自分自身の考え方(心)の問題としてではなく、もう少し広く、社会とかかわる問題として解き放つことが、この問題とのバランスのよい向き合い方なのではないかと思つています。

(牧野智和の文章による)

〔問一〕 傍線部①「コウロ」、②「ハッキ」、③「リッシン」、④「ビョウガキ」、⑤「ソボク」のカタカナを漢字に直せ。

〔問二〕 二重傍線部 a 「ばつ」、b 「をして」を別の語に置き換えた場合、最も適当なものを次のア～エのうちからそれぞれ選べ。

- | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|--------|
| a 「ばつ」 | ア はぶり | イ かつこう | ウ なりゆき | エ きまり |
| b 「をして」 | ア の | イ に | ウ から | エ のために |

〔問三〕 文中の空欄部（

）Ⅰ・Ⅱに入る最も適当な語を次のア～エのうちからそれぞれ選べ。

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|-------|
| Ⅰ | ア たいてい | イ かねって | ウ たしかに | エ さらに |
| Ⅱ | ア やはり | イ かなり | ウ もはや | エ にわか |

〔問四〕

空欄部

X

を補う最も適当な語を文中から抜き出して答えよ。

〔問五〕

傍線部 A 「『やりたいこと』を推奨する文脈が数年間で真逆に変わってしまった」とあるが、どのような文脈からどのような文脈にかわったのか。それを説明した次の文の空欄 a・b にあうように適当な表現をそれぞれ本文中から十字で抜き出して答えよ。

やりたいことを推奨する理由が「 a 「から」 b 「に変化した。

〔問六〕

空欄部

Y

にあてはまる表現として適当なものを、次のア～オのうちから二つ選べ。

- ア 「昔からそうだから」
- イ 「人は皆自由なのだから」
- ウ 「皆がそうしているから」
- エ 「責任は個人がとるのだから」
- オ 「考え方は皆それぞれだから」

〔問七〕

傍線部 B 「さほどばつの悪い思いをする必要はない」のはなぜか。その理由を説明せよ。

〔問八〕 傍線部C「どう自分の側へ折り曲げていくか」とあるが、「自分の側へ折り曲げていく」とはどういうことか。最も適当なものを次のア～エのうちから選べ。

- ア 自分のやりたいことを曲げることなく、社会への対応を考えていくこと。
- イ 社会とかかわる際に、自分はどのような態度で接するかを考えること。
- ウ 自分のやりたいことを抑えてでも、社会との関係を築こうとすること。
- エ 社会と向き合うために、社会の中での個人の責任を自覚すること。

〔問九〕 次の文章A・Bは、いずれかの段落の要約である。どの段落のものか。段落の始めの五字を抜き出して答えよ。

A 「旧来の価値観の崩壊に伴って、個人の選択が重視されるようになった。社会の側も個人の意志を要請するように変化していった。」

B 「家制度を背景としてみずからの出自などの封建的価値のなかで個人の意志は拘束されていたが、それは自明のこととして人々に受容されていた。」

〔問十〕 本文のタイトル(表題)として最も適当なものを次のア～エのうちから選べ。

- ア 「やりたいこと」と若者
- イ 「やりたいこと」と能力
- ウ 「やりたいこと」と責任
- エ 「やりたいこと」と社会

〔一〕 次の文章は、高井有一著『少年たちの戦場』の一節である。第二次世界大戦末期の昭和二十年、東京への空襲が増す中、戦災を避けて小学校の学童たちは、親元を離れ、田舎のお寺などに集団疎開をしている。同年一月から数ヶ月におよぶ集団生活の中で、子供たちは疲れ、引率教員（五代先生・粕谷先生ら）も、長期にわたって子供をあずかり、気の休まることはなかった。以下の文章は、前半が五代先生と学童の一人である氷川泰輔との対話、後半がその日の五代先生の日記という体裁になっている。読んで後の問いに答えよ。

氷川泰輔が職員室へ呼ばれたのは、五月二十八日である。何の予想もなく入って行くと、五代が寺の備品らしい古い黒ずんだ机に向かいしきりに手帳に字を書き込んでいた。

「坐りなさい」

彼は氷川の方にちらと視線を走らせただけで、また机に向き直った。十分余りもそうしていら、音を立てて手帳を閉じ、ため息をついた。

「さあ、これでよし」

眼に笑いがあった。

「この間の空襲では、畏れ多いことに、宮城（注・皇居のこと）まで焼けてしまった。われわれ臣下の者が苦勞をするのは、当然のことだね」

この時、氷川は不意に、机の上にあるフウシヨの上書きが、父の筆跡であるのに気がついた。尋常な事では、父が手紙を寄こすはずはなかった。

「先生」

「うん」

五代はうなずいた。彼も、氷川が感じた事を察したのであろう。

「お父さんからの手紙だ。読むか」

「いいです」

「そうか。二十四日の空襲でね、君の家、やられてしまったんだ。だが、お父さんは、家の焼けるのは、前から覚悟の上だったと書いておられるよ。空襲の晩、お父さんは、坂の下の空地まで避難して、そこから家の方をじっと見ていたんだそうだ」

ああ、あのドカンが一杯積んであった空地だな、と氷川は思った。学校からの帰り、そこまで来ると高台の頂上にある家が、硝子窓を光らせて見えたものであった。

「焼夷弾が続けざまに落ちて、家が、太い火柱になって燃え上ったのを見たら、もうこれ以上、何も悩まされるものはないという気がしたそうだよ。先生には解らないが、そういうものかな。今は、三鷹の伯父さんの所にいるが、やがては、焼け跡にバラックでも建てて、また以前と変わらない生活を始めるつもりだと書いてあったな。」

「ええ」

彼は無意味に答えた。心は冷えていた。巧みに作られた物語を聞かされているような気さえたのは、余りに唐突に、眼の前の現実が変わったせいであつたらうか。

東京の夜間空襲は、四月十五日以来、四十日間も跡絶えて、昼間の、艦載機による攻撃がダンゾク

していた。関西や中京、九州への爆撃が始まり、沖縄の失陥も間近と思われる時期にあったが、東京に残して来た家にしか関心を持たない少年たちにとって、それは所詮遠い場所の戦であったに過ぎない。

「この頃は、もう毎日特攻機が突っ込んでいるんだから、いくら敵の物量が豊富だって、そう簡単に攻めて来られはせんさ。艦載機なんて、何も心配する事はありません。航統距離が短いし、大した火器を積んでいないから被害なんか知れたものだよ」

という新聞記事そのままの粕谷の言葉が、抵抗なく受け容れられていたのである。だから、五月二十四日④ミメイ、二十五日深更と二度の空襲も、氷川には、サイレンの音を半ば眠りながら聞いたような、曖昧な記憶の他は、何も遺されていない。家が失われるかも知れないという怖れは、四十日の見せかけの平和の間に、薄らぎかけ、三月十日に見た炎の色も、何時の間にか、現実と関わらない思出の中に繰り込まれて行きつつあった。

「心配しなくてもいいよ」

黙ってしまった彼を氣遣って、五代は言った。

「お父さんお母さんが健在なんだから、東京の事はそちらへお任せしておけばいい。この戦争さえ終われば、すぐに元通りになるよ」

戦争は終わるだろうか、と氷川は遠い心で思った。彼の生まれた頃から、休みなく戦われている戦争が、何時か終わる日があるうとは、考え難かった。彼をはじめ、寺にいる生徒の総てが、再び東京へ帰る日のあることを漠然と信じてはいたが、その日が果たしてどういう形でやって来るのか、誰にも解ってはいなかったはずである。

「高津なんか、先月の空襲で両親とも行方不明になってしまったんだからね。それに較べれば、君の場合はどんなに恵まれているか判りゃしない」

高津というのは、信州に疎開している生徒の名である。それでは、高津はみなし児になってしまったんだな、と氷川は思ったが、その時、彼が肉親を喪った者の哀しみを理解したわけではない。沈んだ感情は容易に動きはしなかった。

「さ、もうよろしい。皆には、先生から話すからね」

「先生」

氷川は思わず言った。今少し五代と話していたかった。

「空襲で焼けた跡は、どんな風になるんですか。死骸がごろごろして話も聞いたけど」

「先生も見たわけじゃないが、君の家のような住宅地ではそんな事はないだろう。死人の多かったのは、下町の、家が建て込んだ所だよ」

「先生、よく、一度家の焼け跡に行ってみてはいけませんか」

「焼け跡へ」

五代はいぶかしそうにまゆを寄せた。

「行ってどうするんだ」

「ええ、あの、見たいんです」

氷川は言い淀んだ。彼は焼けた家の庭へ行ってみて見たいと思ったのである。庭のカタスミ、^⑤ 柘榴の木

の下に、彼の花壇があった。二坪の土地に、自分で低い竹の柵を作り、好きな花を植え、育てていた。庭の芝を剥がし、野菜を作るようになって、その花壇だけは変わらずに残された。ダリアの球根を埋めたままにして来たが、焼けた土の中でも、それが生きているかどうかを知りたかった。彼のいな間は、母が面倒を見てくれていたはずであったが、焼けた後にも咲いている花があるかどうかを知りたかった。しかし、その気持ちを、五代に納得させる言葉は見つからないようであった。

「行ってみたくなるのは、当然かも知れない、長い間暮らして来た家だからね。でも、それをしてはいけないな」

部屋はやや暗くなって、五代の、II が流れた。本堂では、夕食の食器の触れ合う音がしていた。

「皆が自分のしたい事をこらえて生活しているんだよ。君にだけ例外を作るわけには行かない。それに君だって、家が失くなってるのを見たら、今後ここに居るのが辛くなるばかりじゃないか」

「はい」

引き込まれるように氷川は答えた。五代の優しさに抗えなかった。

「いいね」

「はい」

「もう行きなさい」

素直に、彼は立って部屋を出た。間もなく夕食であった。

〔五代先生の日記〕

五月二十八日 晴

氷川の父親から、罹災^{りさい}を知らせる手紙が来たのは、朝だった。私は、夕方までそれを当の子供に伝えられなかった。(中略) 半日の間、私は氷川にどう伝えたらよいかと考えるつもりでいながら、実際には何にも考えずに無駄な時間を消した。私は怖かった。氷川は私のIIIを見抜いただろう。彼は父親の手紙があるのを見て、敏感に事実を悟ったらしい。そして私が話しかけるのにも、ほとんど何も言わなかった。彼は気難しい父親の躰^{しっけ}のせい、普段から思った事を口にする方ではないが、反面には、細かい事に意外に気を悩ませる弱さがあるのを私は知っている。それだけに、彼が焼け跡へ行ってみたいなどと、いつもの彼に似合わない奇妙な事を言い出した時には、涙ぐみそうになるのを抑えるのに苦しんだ。そうした言葉でしか自分の感情を表現できない彼が哀れだった。彼と向き合っていたのは、わずか二十分足らずに過ぎなかったろう。それでも、彼が消えるように去った後のIVは重かった。これから先、彼はどうなっていくのだろう。どうなるにしても、私は、硝子戸の内側から表を見るように、離れた場所から見守っていく以外のことはできないだろう。私は彼の親ではなく、教師にしか過ぎないからだ。

今後、家を焼かれる子供、あるいは両親を失う子供さえきつと出るだろうという予測が私の気を萎^なえさせる。現在員二十八名のうち、罹災者二名という数字は、まだ運がいい方なのに違いない。しかし、この幸運は果たして飲ぶべきもののだろうか。私も含めて、全員の家が一度に焼けてしまっ

たら、と私は妄想することがある。そうすれば、等しなみの不幸の中で、装われない裸の触れ合いが生れるかも知れないではないか。

〔問一〕 傍線部①「フウシヨ」、②「ドカン」、③「ダンゾク」、④「ミメイ」、⑤「カタスミ」のカタカナを漢字に直せ。

〔問二〕 空欄部 I・IIにあてはまる表現として最も適当なものを、次のア～エのうちからそれぞれ選べ。

- I ア 思い切りのいい、さっぱりしたお父さんだな
 イ 諦めのいい、達観したお父さんだな
 ウ 意志の強い、立派なお父さんだな
 エ 我慢強い、しぶといお父さんだな

- II ア 心を溶かすような甘ったるい声
 イ 肌を撫なでるような柔らかい声
 ウ 心臓を刺すような鋭い声
 エ 腹に響くような重たい声

〔問三〕 空欄部 III・IVを補う最も適当な語を、次のア～エのうちからそれぞれ補え。

- III ア ためらい イ 偽り ウ こだわり エ 憤り
 IV ア 衝撃 イ 責任 ウ 後悔 エ 疲労

〔問四〕 傍線部A「ちらと視線を走らせただけで、また机に向き直った。十分余りもそうしてきてから、音を立てて手帳を閉じ、ため息をついた。」について、この間の五代先生の気持ちとして最も適当なものを次のア～エのうちから選べ。

- ア 氷川が自宅の被災を知り傷つくことを恐れて、どう伝えたらいいか思い悩んでいる。
 イ 徐々に激しくなる空襲の中で被災する子が増えることを想像し、耐え難く感じている。
 ウ 疎開先での多忙な生活に追われ疲労しつつ、児童を指導し見守る使命を自覚している。
 エ 自宅を失った氷川がこれからどうなるかを心配し、同時に自分の無力を責めている。

〔問五〕 傍線部B「氷川が感じた事」とはなにか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから選べ。

- ア 先生の優しい態度に接し、叱責されるために呼ばれたのではないと思ったこと。
- イ 疎開先にいる自分を頼りにするほど、父も精神的に追い詰められていると思ったこと。
- ウ 父からの手紙に気づき、実家では大変な事態が起こったにちがいないと思ったこと。
- エ 机の手紙が父のものである以上、いよいよ父が迎えに来てくれるのだと思ったこと。

〔問六〕 傍線部C「物語を聞かされているような気」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから選べ。

- ア つい引き込まれる魅力を備えているように思われたこと。
- イ 現実味のない別の次元の世界の話のように思われたこと。
- ウ 自分がドラマの主人公に設定されたように思われたこと。
- エ 自分の人生がひとつの結末に向かうように思われたこと。

〔問七〕 傍線部D「一度家の焼け跡に行ってみてはいけませんか」とあるが、氷川の動機と五代先生の受け止め方には違いが見られる。それはどのような違いか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから選べ。

- ア 氷川は運命を受け入れようと考えているが、五代先生は運命に反抗しようとしていると理解している。
- イ 氷川は運命に反抗しようと考えているが、五代先生は運命を受け入れようとしていると理解している。
- ウ 氷川は変化を確認しようとしているが、五代先生は不変を確認したいのだと理解している。
- エ 氷川は不変を確認しようとしているが、五代先生は変化の確認をしたいのだと理解している。

〔問八〕 波線部 X・Y・Z は五代先生の発言であるが、それぞれどういう意図によってなされたものか。それぞれに最も適当なものを、次のア～カのうちから選べ。

X 「この間の空襲では、畏れ多い事に、宮城まで焼けてしまった。」

Y 「東京の事はそちらへお任せしておけばいい。」

Z 「高津なんか、先月の空襲で両親とも行方不明になってしまったんだからね。」

ア 自宅が被災したショックを慰めるために、国を第一に考える時期であるから、自分のことばかりにかまけるのは良くないと話そうとした。

イ 自宅が被災したショックを慰めるために、何事にも程度の違いがあり、比較の問題にすぎないとはいえ、絶望的な気分になるなど話そうとした。

ウ 自宅が被災したショックを慰めるために、氷川の家が特別不運ではなく、どんな立場の人にも起こりうる事態なのだと話そうとした。

エ 自宅が被災したショックを慰めるために、命さえ無事ならば悲観するに及ばないし、将来に向けてどんな困難も克服できると話そうとした。

オ 疎開をしている現在は集団の一員として元気に過ごし、大人の戦争遂行の邪魔にならないようにするべきだと話そうとした。

カ 疎開をしている現在は集団の一員として元気に過ごし、今の生活を全うすることを第一に考えてほしいと話そうとした。

〔問九〕 五代先生の人物像を説明したものとして適当なものを、次のア～オのうちから二つ選べ。

ア 児童をよく観察し、そのおかれた状況や性格を踏まえ誠実に心の交流を求めようとしている。

イ 戦争の悲惨さへのやり場のない憤りを自分一人で抱え、反戦の気分にとらわれ始めている。

ウ 一人一人の児童のことよりも引率児童全体への配慮を心がけ、規律の維持に苦心している。

エ 児童も自分も同様に被災したなら、平等意識も芽生えて互いに理解しあえるはずだと確信している。

オ 親ではなく、教師の立場でしか子供に接することができない自分にもどかしさを感じている。

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

すべて、蜂は短小の虫なれども、仁智じんちの心ありといへり。

されば、京極太政大臣宗輔公①は、蜂をいくらともなく飼ひ給ひて、「なに丸、か丸」と名を付けて、呼び給ひければ、召しにしたがひて恪勤者かくごしや（注・雑務のさむらい）などを勘当かんどう（注・叱責）し給ひけるには、「なに丸、某刺なにかしして来こ」とのたまひければ、そのままにぞ振③る舞ひける。

出仕の時は車のうらうへの物見に、はらめきけるを、「とまれ」とのたまひければ、とまりけり。世には蜂飼おとどの大臣とぞ申しける。不思議の□、おはしける人なり。漢の蕭芝しょうし（注・中国の人物）が雉きじをしたがへたりけるに、ことならず。

この殿の蜂を飼ひ給ふを、世人、「むやくのこと④」といひけるほどに、さつき〓〓のころ、鳥羽殿にて、蜂の巢にはかに落ちて、御前に飛び散りたりければ、人々、刺されじとて、逃げさわぎけるに、相国しょうこく、御前にありける枇杷びわを一房取りて琴爪（注・琴を弾く時に使う道具）にて皮をむきて、さし上げられたりければ、あるかぎり取りつきて、散らざりければ、供人を召して、やをらたびたりければ、院は「かしこくぞ、宗輔⑤が居りて」と仰せられて⑥、御感ごかんありけり。〔十訓抄〕による）

〔問一〕 二重傍線部「さつき」は旧暦何月のことか。

〔問二〕 空欄部□を補うのに最も適当な語を、次のア～エのうちから選べ。

ア 縁 イ 利 ウ 念 エ 徳

〔問三〕 傍線部①「宗輔公」は、世間の人々に何と呼ばれていたか。文中から抜き出して答えよ。

〔問四〕 傍線部②「したがひて」、⑥「仰せられて」の主語を次より選び、記号で答えよ。

ア 宗輔公 イ 蜂 ウ 恪勤者 エ 世人 オ 院

〔問五〕 傍線部③「振る舞ひける」とあるが、何が、どうしたことを述べているか。十字以内で答えよ。

〔問六〕 傍線部④「むやくのこと」の現代語訳として、最も適当なものを、次のア～エのうちから選べ。

ア 気味の悪いことだ。 イ 立派なことだ。
ウ 無駄なことだ。 エ 奇妙なことだ。

〔問七〕 傍線部⑤「居りて」はそれに続く表現が省略されている。その内容を現代語で、五字以内で答えよ。

四 次の〔A〕・〔B〕の問いに答えよ。

〔A〕 次の1～5の短文の傍線部は誤りである。正しい語を答えよ。ただし、解答はすべて二字の漢字で答えること。

- 1 『方丈記』『平家物語』『徒然草』などの作品が成立したのは江戸時代である。
- 2 清少納言の『枕草子』はわが国で最初の小説として知られている作品である。
- 3 比喩の中でも人以外のものを人格化し、人間にたとえる表現方法は直喩法といわれる。
- 4 敬語の中で動作の受け手に対する敬意を示す語、例えば「いただく」などは丁寧語という。
- 5 単語のうち、自立語で活用せず、用言を修飾する働きの品詞を形容詞という。

〔B〕 次に示した表現は、すべて慣用表現であり、()内はその語の意味であるが、1～5それぞれのア・イの空欄部□には身体の部位で同じ漢字一字が入る。その漢字を答えよ。

- 1 ア □を持つ(味方をする事)
イ □を貸す(援助すること)
- 2 ア □つば物(真偽の疑わしいもの)
イ □目秀麗(容貌がすぐれていること)
- 3 ア □を巻く(驚いたり感心したりすること)
イ 二枚□(時に応じて都合の良いことを言うこと)
- 4 ア □が立つ(面目を保つこと)
イ 厚□無恥(あつかましく恥知らずなさま)
- 5 ア 竜□蛇尾(初めは勢いが盛んだが、終わりは勢いのないこと)
イ 羊□狗肉(見かけ倒しなこと)

英 語

1 (1) 下線部の発音が左端の語と同じものをそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|---|--|
| 1. <u>g</u> ym : | ア <u>g</u> lad | イ <u>g</u> row | ウ <u>e</u> n <u>e</u> rgy | エ <u>a</u> ng <u>r</u> y |
| 2. <u>e</u> ar <u>t</u> h : | ア <u>h</u> ar <u>d</u> | イ <u>g</u> ir <u>l</u> | ウ <u>w</u> ar <u>m</u> | エ <u>M</u> ar <u>ch</u> |
| 3. <u>b</u> ou <u>gh</u> t : | ア <u>h</u> o <u>p</u> e | イ <u>b</u> o <u>a</u> t | ウ <u>o</u> pe <u>n</u> | エ <u>c</u> au <u>gh</u> t |
| 4. <u>f</u> am <u>o</u> us : | ア <u>b</u> e <u>s</u> t | イ <u>b</u> a <u>th</u> | ウ <u>b</u> re <u>a</u> k <u>f</u> as <u>t</u> | エ <u>d</u> an <u>g</u> er <u>o</u> us |
| 5. <u>w</u> at <u>ch</u> ed : | ア <u>p</u> ic <u>k</u> ed | イ <u>w</u> ai <u>t</u> ed | ウ <u>a</u> n <u>s</u> we <u>r</u> ed | エ <u>c</u> ol <u>l</u> e <u>c</u> t <u>e</u> d |

(2) 最初の部分を最も強く発音するものを下から2つ選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ア mu-si-cian | イ sev-en-teen | ウ In-ter-net | エ in-tro-duce |
| オ vol-un-teer | カ ex-pen-sive | キ tra-di-tion | ク news-pa-per |

2 (1) 次の各組の A と B の関係が C と D の関係と同じになるように、D に入る適語を答えよ。

- | A | B | C | D |
|----------|-------|--------|-----|
| 1. write | wrote | run | () |
| 2. hour | our | I | () |
| 3. boy | son | girl | () |
| 4. high | low | best | () |
| 5. July | month | summer | () |

(2) 次の各組の A の説明にあてはまる語を B の空所に入れ、B を意味の通る英文にせよ。

- A. a child of your uncle or aunt
B. Have you met my () ?
- A. a very young child who has not yet learned to speak or walk
B. A woman was holding her () in her arms.
- A. a room or building which has books We can read the books there.
B. I often went to the () when I was a college student.
- A. someone you know well and like, but who is not a member of your family
B. She is my best ().

3 次の英文の () 内から最も適するものをそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- He needs a car, (ア isn't イ don't ウ doesn't) he?
- His house is much bigger than (ア my イ our ウ ours).
- We enjoyed (ア skiing イ to ski ウ in skiing) in Canada.
- You don't (ア can イ must ウ have to) go to school today.
- I don't have an eraser, so I'll buy (ア it イ one ウ other).
- The stars (ア seen イ seeing ウ to see) from here are very beautiful.

7. We hope (ア to イ that ウ because) you will pass the examination.
8. (ア While イ During ウ Though) my stay in Hawaii, I swam in the sea.
9. Are you tired? — Yes, I'm tired (ア at イ from ウ along) too much work.
10. Clean your room before your mother (ア comes イ coming ウ will come) back.

4 次の英文の下線部のうちで誤りのあるものをそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

1. There ア) were イ) a lot of water ウ) in the bottle エ) then.
2. I ア) bought イ) a pair of ウ) shoe at a エ) department store.
3. She ア) stood イ) by him ウ) to see エ) what was he doing.
4. Taylor is ア) one of イ) the ウ) most famous エ) singer in the world.
5. My father has ア) some pictures イ) that ウ) was painted エ) by the artist.
6. You should ア) drink these round イ) pieces of medicine ウ) twice エ) a day.
7. The boys ア) got イ) exciting ウ) at the game エ) between the Giants and the Tigers.

5 次の会話文を完成させたとき、空所に入る最も適するものをそれぞれ下から1つ選び、記号で答えよ。

1. “May I use your computer?” — “()”
ア No, thanks. イ Yes, of course. ウ You're welcome.
2. “What's the purpose of your visit?” — “()”
ア I'll go there with Tom. イ I'm here for sightseeing. ウ I'll be here for two weeks.
3. “Excuse me, but could you tell me the way to Osaka Station?” — “Sorry, ()”
ア I know it very well. イ it's just around the corner. ウ I'm a stranger here.

6 次の日本語の意味に合うように、空所に最も適する語を入れよ。

1. これは誰の辞書ですか。
() () is this?
2. 彼は私に悪いことは何もしなかった。
He () () bad for me.
3. チケットはまだ2, 3枚あります。
We still have () () tickets.
4. 食べ過ぎないほうがいいよ。
You had () () eat too much.
5. 電車でここに来る人が多いです。
Many people come here () ().

7 次の各組の英文がほぼ同じ意味になるように、空所に最も適する語を入れよ。

1. Mary can play the violin better than I.
= I can't play the violin () () as Mary.
2. Let's go for a walk with my dog.
= () () go for a walk with my dog?
3. I was angry because I heard such a thing.
= I was angry () () such a thing.
4. This church is very old. When was it built?
= What an old church! () old () it?
5. That is the book he lent me.
= That is the book I () () him.

8 次の英文の空所に、[] 内の語を補って英文を完成させたとき、それぞれの (A), (B) に入るものを記号で答えよ。

1. すべてのゲームの中でこのゲームが最も難しい。
This game () () (A) () (B) ().
[ア is イ of ウ all エ the オ most カ difficult]
2. そのコーヒーは熱すぎて私には飲めません。
The coffee () (A) () (B) () () ().
[ア is イ me ウ for エ to オ hot カ too キ drink]
3. 毎日運動をきなさい。そうすればじょうぶになりますよ。
Take () () () (A) () (B) ().
[ア be イ day ウ and エ every オ you'll カ strong キ exercise]

9 次の英文を [] 内の指示に従って書きかえよ。

1. Bob painted this picture last week. [下線部をたずねる疑問文に]
2. They have visited Kanazawa three times. [下線部をたずねる疑問文に]
3. What was this cat called by your classmates? [能動態の文に]

10 次の日本語を [] 内の指示に従って英語に直せ。

1. 私は4ヶ国語がわかる女性を1人知っています。 [who を用いて]
2. 英語を聴くことは英語を話すための最善の方法です。 [Listening で始めて]

11 次の会話文を読んで、あとの問いに答えよ。

Hayato : Hello, Ms. Green.

Ms. Green : Hello, Hayato. Did you enjoy your winter vacation?

Hayato : Yes, I did. I stayed in Australia for one week. It was summer there.

Ms. Green : That's wonderful.

Hayato : Great! I stayed with an Australian family. All the family were very nice.

Ms. Green :

Hayato : We visited many interesting places.

Ms. Green : Good.

Hayato : There were five. There was a girl in the family. Her name is Emily. She was interested in Japan. So she asked me many questions about Japan.

Ms. Green :

Hayato : No. It was difficult for me to answer some of her questions in English. So I want to study English harder.

Ms. Green : She will be glad to get your letter. And it is very good for you to write letters in English.

Hayato : I see. I haven't written a letter to her yet. I'll write this evening. Ms. Green, will you have time to read my letter tomorrow?

Ms. Green : Sure. Hayato, you speak English well. If you come and speak to me in English every day, you will be able to speak English better.

Hayato : Really? I'll come every day. Thank you very much, Ms. Green.

Ms. Green : Sure, that's OK.

[問1] ～ に入る最も適するものをそれぞれ下から1つ選び、記号で答えよ。

ただし、同じものを複数回使用してはいけない。

- ア Did you answer all of them?
- イ What did you do with them?
- ウ How was your life in Australia?
- エ Why don't you answer them in your letter?
- オ How many people were there in the family?

[問2] Hayato は今後何をしようと思っているか。誤っているものを下から1つ選び、記号で答えよ。

- ア Emily に手紙を書く。
- イ 日本についてもっと勉強する。
- ウ 英語をもっと一生懸命に勉強する。
- エ Green 先生のところに毎日行き、英語で会話をする。

12 次の英文を読んで、あとの問いに答えよ。

A young poor boy was selling candy door-to-door to be able to go to school. One day, he had only one dollar on him. He was so hungry that when he got [A] the next house, he wanted to ask for lunch. When a middle-aged woman opened the door, he ① lost his nerve and asked for a glass of water *instead. The woman was not rich herself, but she thought he was hungry so she (1) him a large glass of milk.

“ あ ” he said as he slowly finished the milk and took the dollar out [B] his pocket. The woman answered, “*You don’t owe me anything. My mother taught me い. Be strong, young man. You’ll be great [C] the future.” When the boy (2) the woman’s house, he felt not only stronger in his body but also encouraged [D] her kindness.

After that day, the woman sometimes (3) about the boy and her *impressions from that day. It was a happy memory for her because she never had any children of her own.

In time, she got older and finally fell sick. The doctors did not know what was wrong, and so they (4) her to a large hospital in the city.

The woman needed a difficult *operation. When she *woke up after the operation, she was very happy to be *alive but she knew she had ② another difficult problem. Without *health insurance or any family, she knew she would *be paying off her *medical bills *for the rest of her life.

The next day, a doctor knocked on her door. In his hand was *a medical bill. He smiled when he gave it to her. “Read it, please.” Then she read it. The bill said, ③ “Paid in full with one glass of milk.” She looked up to him, and she *recognized the boy.

注) instead : 「その代わりに」 You don’t owe me anything. : 「あなたは私に何の借りもない。」

impressions : 「印象」 operation : 「手術」 woke up : 「目覚めた」 alive : 「生きたままで」

health insurance : 「健康保険」 be paying off : 「を払い続ける」 medical bills : 「医療費」

for the rest of her life : 「残りの人生で」 a medical bill : 「医療費の請求書」

recognized : 「だと気づいた」

13 次の英文を読んで、あとの問いに答えよ。

*Coral polyps may be small, but they build ① big things! They are probably the biggest builders on the earth. They live in the warm parts of the Earth's oceans. Coral polyps turn *calcium from seawater into a hard *material called *limestone. Slowly, they build up a hard *skeleton around their bodies. When polyps die, young polyps come to the old skeletons and make new skeletons. Over time, strange and wonderful skeletons are slowly built up into amazing *coral reefs.

Some coral reefs are very big, and the Great Barrier Reef in Australia is the largest of them all. It ② covers 350,000 km².

Scientists sometimes think of coral reefs as underwater cities. Millions of living things live near reefs.

People don't live in coral reef cities, but we *benefit from them. Reefs *create jobs for people in the fishing *industry. They also give us food. Reefs protect our coasts — the coral slows waves down and protects beaches from *erosion.

Coral reefs are also popular for divers — many countries benefit from the tourists who want to enjoy diving. Finally, we can get *chemicals from the living things near reefs, and some of them are very useful in making new medicines.

Coral reefs are very important, but . *Environmental problems (1) about twenty percent of the world's reefs. About half of the other reefs are dying, and scientists believe all of Earth's coral reefs will be in danger by 2050.

Why are the reefs in such trouble? For one thing, people catch too many reef fish and often damage the reefs — . Many people make and sell coral *jewelry, too.

*Dirty water also *causes problems. *Algae which ③ destroys reefs grows in such water. Even air *pollution hurts coral reefs. ④ Global warming makes ocean water warmer, and this reduces algae which helps coral polyps. Without that algae, coral turns white. This is called “bleaching,” and if it continues, the coral dies.

Can we save coral reefs? Scientists say yes — if we try hard. Many people around the world are working to protect reefs, but we need to do more. More than 100 countries have created protected areas in the sea. In this area people are not free to catch fish. Another important step is fighting pollution.

People and coral polyps are very different, but we both build amazing cities. We will both benefit if .

数 学

1 次の問いに答えよ。

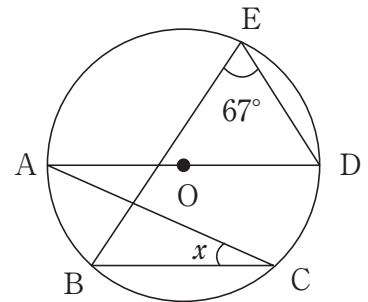
(1) $x^2 - 2x + 1 - 9y^2$ を因数分解せよ。

(2) $\sqrt{28} - \frac{(3-\sqrt{2})(3+\sqrt{2})}{\sqrt{7}}$ を計算せよ。

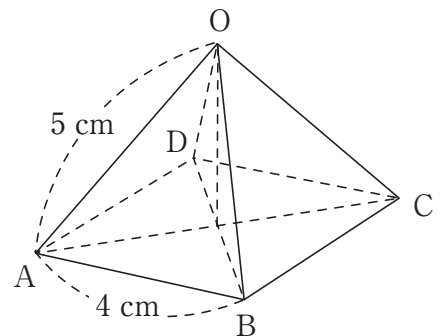
(3) 連立方程式 $\begin{cases} 2(x-2) = 3(y+3) \\ 4x - 5y = 67 \end{cases}$ を解け。

(4) n は自然数とする。 $\frac{n}{6}$, $\frac{n^2}{196}$ がともに自然数となるような n のうち最小のものを求めよ。

(5) 右の図において、 $\angle x$ の大きさを求めよ。
ただし、線分 AD は、円 O の直径である。



(6) 右の図のように正四角錐 O-ABCD がある。1 辺が 4 cm の正方形 ABCD で、他の辺が 5 cm である。この正四角錐の体積を求めよ。



2 次の問いに答えよ。

(1) 1, 2, 3, 4, 5 の数が 1 つずつ書かれた 5 枚のカードから、同時に 2 枚のカードを取り出すとき、2 枚のカードに書かれた数の和が 7 以上になる確率を求めよ。

(2) 2 次方程式 $2x^2 - 6x - 3 = 0$ の 2 つの解のうち大きいほうの解を p 、小さいほうの解を q とするとき、 $p^2 - q^2$ の値を求めよ。

(3) 座標平面上に、3 点 $O(0, 0)$, $A(12, 0)$, $B(0, 8)$ がある。

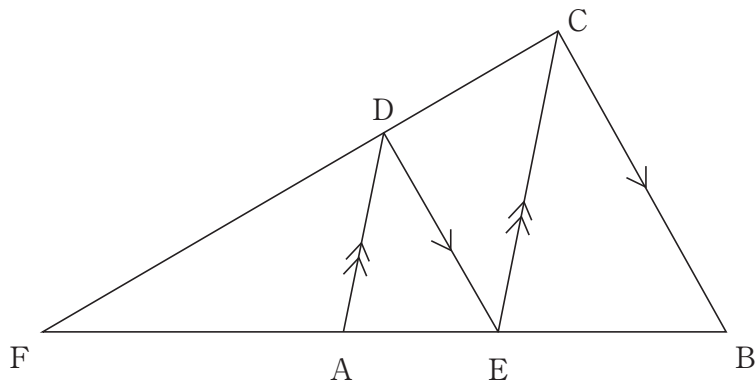
線分 OA 上に点 P をとり、点 P を通り y 軸に平行な直線と直線 AB との交点を Q とし、点 Q を通り x 軸に平行な直線と y 軸との交点を R とする。点 P の x 座標を a とするとき、次の各問いに答えよ。

① 直線 AB の式を求めよ。

② 長方形 $OPQR$ の面積が 18 になるような a の値を求めよ。

(4) 図において、 $AE=4$ 、 $EB=6$ 、 $AD\parallel EC$ 、 $BC\parallel ED$ である。

また CD 、 BA を延長し、その交点を F とする。 $\triangle DAE$ の面積が 12 であるとき、次の各問いに答えよ。



① $\triangle CEB$ の面積を求めよ。

② $\triangle EDC$ の面積を求めよ。

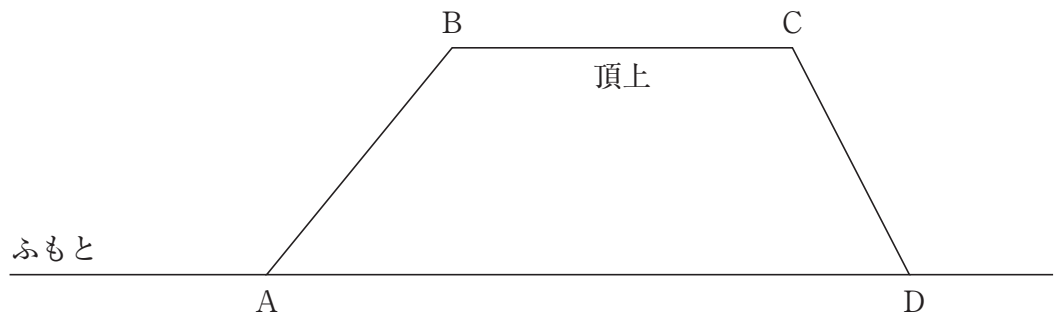
③ 線分 FA の長さを求めよ。

④ $\triangle FBC$ の面積を求めよ。

3

T君は自転車でK峠を往復する計画を立てた。K峠は図のように道路 AB, BC, CD でつながっている。地点 A, D はふもとにあり、峠の頂上に地点 B, C がある。また, B と C の間は高低差のない平地となっていて, 距離は 16km である。

上り坂 (A → B と D → C) は時速 12km, 平地は時速 24km, 下り坂 (B → A と C → D) は時速 36km で走るとして, 行き (A → B → C → D) は 3 時間 10 分, 帰り (D → C → B → A) は 2 時間 50 分かかる計画である。次の各問いに答えよ。



(1) 区間 AB と区間 CD の距離を求めよ。

(2) 実際に走ってみると, 帰りの上り坂の速さだけが遅くなったため, 計画より 30 分多くかかった。このときの帰りの上り坂は時速何 km で走ったか。

(3) 行きは計画どおりで, 帰りの上り坂は (2) の速さで, 下り坂は時速 36km のままで走る。計画より 22 分多くかかるようにするには, 帰りの平地を時速何 km で走ればよいか。

4

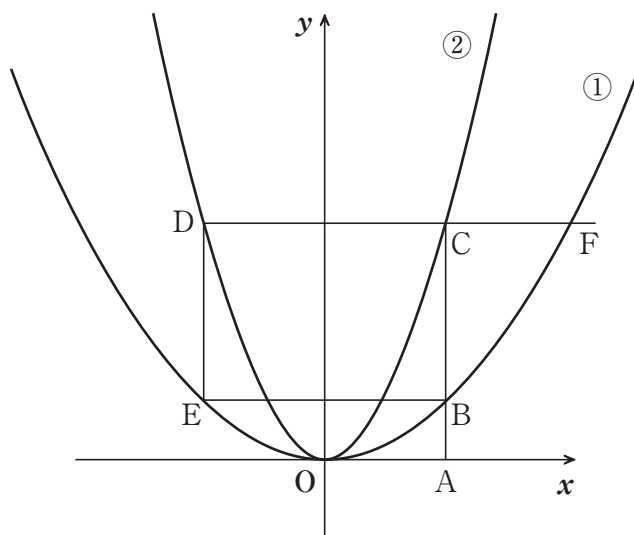
図のように、2つの放物線

$$y = \frac{1}{4}x^2 \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad y = x^2 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

がある。 x 座標が正である点 $A(a, 0)$ をとり、点 A を通り y 軸に平行な直線と、放物線①、②との交点をそれぞれ B, C とする。

また点 C を通り x 軸に平行な直線と、放物線②との交点のうち、点 C と異なる点を D 、点 D を通り y 軸に平行な直線と、放物線①との交点を E とする。

次の各問いに答えよ。



(1) 放物線①について、 x の変域が $-a \leq x \leq a$ であるとき、 y の変域が $0 \leq y \leq 25$ となるような a の値を求めよ。

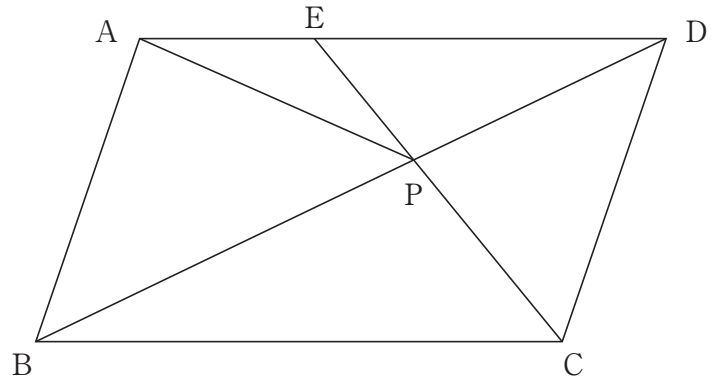
(2) 四角形 $BCDE$ が正方形となるとき、 a の値を求めよ。

(3) 線分 DC の延長と放物線①との交点のうち、 x 座標が正である点を F とする。このとき、点 F の座標を a を用いて表せ。

(4) (3) のとき、 $\angle FBC = 30^\circ$ になるような a の値を求めよ。

5

図において，四角形 ABCD は平行四辺形で， $AE : ED = 1 : 2$ である。また，線分 BD と線分 CE の交点を P とする。線分 PD 上に点 Q を， $\triangle AQP = \triangle AEP$ となるようにとる。このとき，次の各問いに答えよ。



(1) $BP : PD$ を最も簡単な整数の比で表せ。

(2) $PQ : QD$ を最も簡単な整数の比で表せ。

(3) $BQ : QD$ を最も簡単な整数の比で表せ。

(4) 線分 BD 上に点 R を，線分 AR が四角形 ABPE の面積を二等分するようにとる。
 $BR : RD$ を最も簡単な整数の比で表せ。

2018 年 度

入 学 試 験 問 題 解 答 例

(国語, 英語, 数学)

(高等学校)

2018年度 高校 国語 解答例

一

〔問一〕

①

行路

②

発揮

③

立身

④

氷河期

⑤

素朴

〔問二〕

a

エ

b

イ

〔問三〕

I

ウ

II

ア

〔問四〕

属性

〔問五〕

a

何でも選べるからこそ

b

状況が厳しいからこそ

〔問六〕

ア

ウ

〔問七〕

やりたいことを見つかるべきだという考え方は、歴史的に見れば新しく、普遍的な考え方ではないから。

〔問八〕

イ

〔問九〕

A

一九九〇年

B

たとえば、

〔問十〕

エ

二

〔問一〕

①

封書

②

土管

③

断続

④

未明

⑤

片隅

〔問二〕

I

ウ

II

イ

〔問三〕

III

ア

IV

エ

〔問四〕

ア

〔問五〕

ウ

〔問六〕

イ

〔問七〕

エ

〔問八〕

X

ウ

Y

カ

Z

イ

〔問九〕

ア

オ

三

〔問一〕

五月

〔問二〕

エ

〔問三〕

蜂飼の大臣

〔問四〕

②

〔問五〕

イ

⑥

オ

〔問五〕

蜂が刺して来たこと。

〔問六〕

ウ

〔問七〕

良かった

四

〔A〕

1

鎌

倉

2

随

筆

3

擬

人

4

謙

讓

5

副

詞

〔B〕

1

肩

2

眉

3

舌

4

顔

5

頭

2018年度 高校 英語 解答例

1	(1)	1	ウ	2	イ	3	エ	4	エ	5	ア	(2)	ウ	ク			
2	(1)	1	ran			2	eye			3	daughter						
		4	worst			5	season										
	(2)	1	cousin			2	baby			3	library						
		4	friend														
3	1	ウ	2	ウ	3	ア	4	ウ	5	イ							
	6	ア	7	イ	8	イ	9	イ	10	ア(イ)							
4	1	ア	2	ウ	3	エ	4	エ	5	ウ	6	ア	7	イ			
5	1	イ	2	イ	3	ウ											
6	1	Whose			dictionary			2	did			nothing					
	3	a			few			4	better			not					
	5	by			train												
7	1	as (so)			well			2	Shall			we					
	3	to			hear			4	How			is					
	5	borrowed			from												
8	1	A	オ	B	イ	2	A	カ	B	ウ	3	A	ウ	B	ア		
9	1	Who painted this picture last week?															
	2	How many times (often) have they visited Kanazawa?															
	3	What did your classmates call this cat?															
10	1	I know a woman who understands four languages.															
	2	Listening to English is the best way to speak it.															
11	問1	1	ウ	2	イ	3	オ	4	ア	5	エ	問2	イ				
12	問1	A	エ	B	ウ	C	イ	D	ア	問2	ウ						
	問3	1	ウ	2	イ	3	エ	4	ア	問4	あ	ア	い	エ			
	問5	エ		問6	ウ		問7	ウ		エ							
13	問1	ア			問2	②	ア		③	イ		問3	ウ		問4	エ	
	問5	地球温暖化は海水をより温かくする。															
	問6	あ	ア	い	ウ	う	イ	問7	ア	×	イ	○	ウ	×	エ	×	

2018年度 高校 数学 解答例

1	(1) $(x + 3y - 1)(x - 3y - 1)$	(2)	$\sqrt{7}$
	(3) $x = 68 \quad y = 41$	(4)	42
	(5) 23°	(6)	$\frac{16}{3}\sqrt{17}$

2	(1) $\frac{2}{5}$	(2)	$3\sqrt{15}$
	(3) ① $y = -\frac{2}{3}x + 8$	②	$a = 3, 9$
	(4) ① 27	② 18	③ 8
			④ 81

3	(1) 区間 AB 24 km	区間 CD	18 km
	(2) 時速 9 km	(3) 時速	30 km

4	(1) 10	(2)	$\frac{8}{3}$
	(3) F ($2a$, a^2)	(4)	$\frac{4}{3}\sqrt{3}$

5	(1) $3 : 2$	(2)	$1 : 2$
	(3) $11 : 4$	(4)	$11 : 19$